

ふれる・つながる・ひろがる

# 地域共生のいえ かわら版 第15号

発行 令和2年12月



イラスト：飄齋（小塚秀忠）

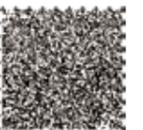
## 箱庭カフェ

長い時間、中庭のある自宅で小中高生の英語教室を開いてきた。  
留学生とホストファミリー、日本語と英語。このいえで色々な結びつきが生まれた。  
もてなしすぎず、自分の暮らし向きはそのままに。  
世の中が変わっても、国籍も年代も関係なく、変わらないつながりを大切に。

発行：一般財団法人 世田谷トラストまちづくり  
〒156-0043 世田谷区松原 6-3-5  
TEL 03-6379-1621  
https://www.setagayatm.or.jp



「地域共生のいえ」とは、オーナー自らの意思により  
家・建物を地域の公益的かつ営利を目的としない  
まちづくり活動の場として地域に役立てる取り組みです。



## 各いえからの寄稿

### 2 COS下北沢 地域の「元気」を育てる発信基地

3密・ソーシャルディスタンス・会食  
懸念材料いっぱいの麻雀会の取り組みは…

もう10年以上、毎月奇数火曜日にこの場所を借りて定例開催している健康麻雀「雀のお宿」では、グループ菜のランチやカフェスタッフの特製飲み物も大変喜ばれています。

コロナ禍が心配され始めた2月、麻雀会のリーダーの方から「かたくなな公共施設クローズの中で、COS下北沢の受け入れが可能ならば、自主管理のもとで継続したい」と申し出がありました。コロナのリスクは脅威ですが、この集まりが高齢者にとってどんなにフレイル予防になるのかを熟知されていたからです。COS下北沢も環境整備や換気のお手伝いをして継続しましたが、4月の緊急事態宣言でやむなく中止。しかし、自粛期間中も（現在に至るまでも同様）、開催の可否にかかわらず予定日前には、メンバー全員に参加の有無を確認（ご自身の事情や判断・自己決定を尊重）し、合わせてお一

人お一人の体調や心理状態もそれとなく傾聴していました。「何よりも心の繋がりを大切にしたいので」と。

自粛解除の6月、公共の場での集まりの多くが中止の中での再開。COS下北沢スタッフも相談に乗るなど、ささやかに後押し。「『雀のお宿』はそこにいるだけでほっこりする貴重な出会いと自然体でいられる場、みんなに会いに行きたい。」というメンバーの声が届いています。『地域の居場所』を掲げるCOS下北沢ですが、この健康麻雀グループの真摯な取り組みから、多くのことを学ばせていただきました。

(COS下北沢・佐藤里子)



出来るだけ距離を取りながらマスク姿で楽しむみなさん

所在地 世田谷区北沢 2-39-6 DATA  
※京王井の頭線・小田急線「下北沢駅」より徒歩4分  
連絡先 03-3481-5340 (COS下北沢)  
活動日 http://npocosfa.com/  
COS下北沢では助成金を活用するなどして感染対策を施しつつ運営を進めています

### 3 在林館 木漏れ日のギャラリー

企画展：  
仮題「ハネギウス一世と和田堀給水所」

羽根木に住み、ハネギウス一世と称した中井秀夫（1922-1993）は、近所の和田堀給水所を誇りとしていました。近くその歴史的姿を失う給水所について再びとりあげます。

1月中旬～木曜開館 14:00-18:00

※詳しくはHP「在林館通信」へ

http://aririnkan.blog.fc2.com/



DATA

所在地 世田谷区羽根木 2-34-4

\*「東松原駅」より徒歩約4分

連絡先 03-3321-0530

### 4 きんしゃい 年をとっても楽しく美しく

おしゃべりは人と人との触れ合い。  
一息入れにいらしてください。  
博多生まれのオーナーがお迎えます。

おしゃべりサロン

毎週金曜日 14:00～16:00

お茶代 200円

DATA

所在地 世田谷区下馬 4-25-2

\*「三軒茶屋駅」より徒歩約16分

\*バス停「駒繫神社」より徒歩1分

連絡先 03-5787-5913 (米屋)

地域共生のいえ  
掲示板

# 1 箱庭カフェ

## 国籍も年代も関係なく 集える場所に

オーナー  
中川さん



### 中庭のある明るいリビングで 多様な人をお出迎え

世田谷区役所の裏手。ピンク色の外装の家が箱庭カフェだ。

「どうぞー」穏やかな笑顔で迎えてくれるオーナーの中川裕子さん。明るい中庭が同時に迎えてくれる。大きなガラスから射し込む柔らかな光で、奥のリビングも開放感がある。中川さんはここで、女手一つで息子さん2人を育てながら小中高生の英語教室を開いてきた。自宅、幼稚園、塾と3ヶ所をフル回転で移動する時期もあった。ノウハウの少ない当初、児童英語界のパイオニアでもあった。

教材の開発などにも携わり、その流れで国内外の出版社の仕事もし、留学生を自宅に住ませるホストファミリーもしてきた。と書くと、ストイックなキャリアウーマンのようだが実際の中川さんは「えー、そうなのー！」と相槌上手な穏やかな雰囲気の人だ。



### 暮らし向きは変えずに受け入れて

ご本人曰く、「マッチングが得意」。教室の生徒さんに向いていると思われる受験生、留学生とホストファミリー、日本語と英語、などを結びつけてきた。このリビングに語学留学生が集い、楽しそうに慣れない手つきでおにぎりを握っている1枚の写真があった(左下参照)。おにぎりの個性に、こちらも顔がほころぶ。

こういった生活習慣も文化も違う人達を、家の中に受け入れて来た様子を聞くと「暮らし向きは変えないの。うちでできることはこれだけってちゃんと伝えて」という答えが返ってきた。どんな人が来ても、もてなし過ぎず日常なるべく変えない。中川さんが長く色々な人を受け入れ、つながり続けてこられた極意のようにも感じる。

現在、中川さんの息子さんはイベント会社を経営。『カワイイ』文化を原宿から海外に発信し、多くの国の人々の心を日本に惹きつけている。人と交わることを仕事にしたのは中川さんのDNAとこのいえの環境があってこそだろう。

### その場に応じてヒットする人に 出会うチカラ

子育ても一息。自分が作ってきたつながりを活かして国籍や年代に関係なく誰もが集える場を、とは考えていた。しかし、高齢のお母様の介護がありさらに「ボランティア」という分野に抵抗感があり、二の足を踏んでいた。そんな

時に世田谷区社会福祉協議会の「傾聴講座」に出会い、先生にも仲間にも恵まれ、心から楽しかったことで抵抗感が払拭された。自分が楽しいと思えることが大切と感じたという。

彼女の言葉を借りると「その場その場でヒットする人と出会うチカラ」を感じる時が度々あるという。そのおかげなのか、やがて町内会の回覧板で「地域共生のいえ」の存在を知る。自宅をひらけば出かけていかなくとも人との交流ができ、介護の時間もとれる。早速エントリーし、お友達のサポートも得て2019年5月から試行イベントを開催、2020年2月には地域共生のいえとして登録となった。

### たおやかな梅の木のように

しかし、その後は誰もが経験してきた自粛の嵐が吹き荒れるコロナ禍。箱庭カフェも半年以

所在地	世田谷区世田谷 4-22-9	DATA
	※東急世田谷線「世田谷駅」より徒歩4分	
連絡先	080-1111-3331 (中川)	
活動日	◎ちょこより 毎月第一火曜日 14時~18時 (お茶代300円) お茶を飲みながらゆっくり過ごす場。 地域の身近な情報が集う。 ◎こみゆこみゆ 詳細は家の前の看板に掲示 ネットワークを活かしてイベントを企画開催します。 ※2020年12月現在、活動休止中ですが、再開に向けて計画中! ※詳細はお問い合わせ下さい。	



上閉めざるを得なかった。中川さんはこの期間を「なんだか冬眠していたみたい」といたずらっぽく笑う。

帰り際に中庭の梅の木を指して「ここに梅の木を植えたのは、梅って枝ぶりが自由なのが好きなの」と教えてくれた。思いがけない風雨がきても、根を張り枝を伸ばし、葉を茂らせている。それは目の前の自由やつながりを大事にしてきた中川さんの姿と重なる。

感染対策など今までにはなかった変化もありつつ、大切にしてきたものは変わらずに。穏やかに根を張ってきたこの地で、箱庭カフェから生まれる多様なつながりをワクワクして待ちたい。

## トラまちから

### 「地域共生のいえ」 少しづつ再開しています!

コロナ禍で殆どの「地域共生のいえ」が活動を休止しました。

5月に行ったアンケート調査では、電話や手紙で連絡を取り合ったり、訪問してインターホン越しに会話したり、インターネットを活用してメールやオンライン会議など、様々な工夫でつながりを継続していることが分かりました。

また、連絡先を知らない利用者を心配する声とともに、感染症対策や再開方法など今後の活動への不安の声も多数寄せられました。

一方、活動休止によりこれまでの活動や自身のことを振り返る内省の機会になったとの話もあり、「閉じることで、その場を必要としている人がいると再確認できた」という声も聞こえました。

12月現在、活動を再開したところもありますが、殆どが今後の活動方法を模索している状況です。

今は、コロナ禍で活動するオーナーの負担を少しでも軽くするために、財団としてできるサポートを進めつつ、少しでも早く、安心して集える日が来るのを祈るばかりです。